

佐久地域水田作検討会を開催しました

佐久地域の水田作の本年の生産・販売を振り返り、来年度の営農指導や普及活動に活かすために、佐久地域水田作検討会を12月9日（金）にJA佐久浅間野沢支所にて開催しました。

本年は、出穂後の日照不足などにより水稻の作況が平年よりもやや悪く、米余りも解消されず、また、販売価格については前年よりも上がる傾向ですが、それと同様に資材高騰があり、生産者が苦しい状況は続いています。

そのような状況下で、佐久地域の水田作を今後どのように維持・発展させていくかについて、支援センターが中心となって実施した各種試験ほの成績書を紹介するとともに、JA、市町村をはじめ全農長野や農業共済組合佐久支所など関係機関と意見交換を行いました。

また、近年加速しているスマート農業の取組みについてもメーカーを交え検討を行いました。

来年度以降も、関係機関一体となり生産者をより一層支援することを確認しました。



感染症対策を実施したうえで、オンラインも併用し、関係機関が集合



若手職員から栽培上改善点の提案なども実施